

# 泣き寝入りするしかないのか！ 派遣軽視の『労災隠し』

# 災害事故！



## 肋骨13本と 右鎖骨骨折

越前町に居住する49歳の男性Kさんは、足場をはじめとする総合建設業(株)A社(越前市)に約3年勤務し、その間福島県での除染作業などに従事したこともある。昨年3月、A社より坂井市の(株)T鉄工に出向勤務を言い渡される。T鉄工で働いていたKさんは昨年の7月30日、従業員と

従業員が事故を再現した現場検証写真

数トンの移動式クレーンを使って作業をしていた。午後4時ごろ、移動式クレーンに胸部を側面からじわじわと挟まれた。一緒に作業をしていた従業員によると、挟まれた時間は約20秒。同時に、骨盤部分と右上腕を木材に挟まれた。直ぐに、救急車を要請。救急隊員によると、Kさんの意識は清明で歩行も可能だったが、脇腹部分に痛みや腰に擦過傷があり、冷や汗を流している。呼吸時に胸の痛みを訴えるため胸部を触ると肋骨が何本か骨折しているのが確認され、福井大学医学部付属病院

に搬送。作業中の事故であり、坂井警察署の現場検証も行われ、上の写真は、従業員がKさんに代わりケガをした時の様子を再現したものだ。

Kさんは全身のレントゲン撮影や心電図、超音波検査などを受け、医師の所見は「頭部、頸椎に明らかな出血や骨折なし。胸部は両側気胸、皮下気腫。後腹膜にも気腫が進展。左血胸、肺挫傷あり。右第1から6、左第2～8肋骨骨折あり、右鎖骨骨折。腹部骨盤は左腎損傷、周囲血腫あり。少量の活動性出血あり。脾損傷有り。少量の活動性出

派遣元のA社と派遣先のT鉄工がまさかの「労災隠し」。業務中に命を落としてもおかしくないほどの大ケガを負って緊急入院したKさん。派遣という弱い立場を良いことに労災を隠すべし、国民健康保険支払いに…。労働者が安心して働けないA社とT鉄工は、ブラック企業と言わざるを得ない。